



熊谷市では、市役所本庁舎の老朽化・狭あい化等に鑑みて、建て替え等も含めた庁舎の更新についての検討を進めています。

今年度は、市庁舎整備についての基本的な考え方等の大枠をお示しする基本構想の策定を目指しており、ワークショップ等で頂いたご意見も踏まえ作成した基本構想素案に対する意見公募手続(パブリックコメント)を、2月1日から2月28日までの期間で実施します。

詳しくは、市ホームページ(右記QRコード)にてご確認ください。



熊谷市HP

プロジェクトの状況

1 市役所本庁舎の耐久年限が迫っています

市役所本庁舎は、昭和48年3月に建築された建物で、建築後50年以上が経過し、老朽化が進んでいます。耐久年限の令和14年度まで10年を切っており、整備検討・計画・工事等の期間も考慮し、本庁舎の更新についての具体的な検討を進めているところです。

市役所
本庁舎

2 市役所の現状について

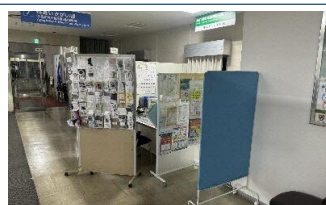
熊谷市では分庁舎方式を採用しており、大里、妻沼、江南の各分庁舎に行政の本部機能を分散しています。

しかし、一つの庁舎で用事が済まないことがあるというデメリットもあり、本庁舎更新の際は、各分庁舎の行政センター機能は維持しつつも、分庁舎方式の廃止を検討することとしています。

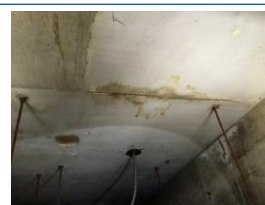
3 市役所本庁舎の課題

本庁舎は狭あい化、設備等の老朽化が著しく、耐震改修工事により倒壊のおそれは低くなったものの、建物自体の寿命は迫ってきています。

諸課題を踏まえ、市民サービスを向上させる庁舎整備の検討が必要です。



通路に設置された執務スペース



雨漏りしている天井

4 現在の検討状況、今後のスケジュールについて

令和5年12月に、市議会議員、外部有識者、公募市民及び市職員で構成する「熊谷市庁舎整備検討委員会」を設置し、市庁舎整備の在り方等について検討しています。また、今年度は、市民アンケートや、市民参加型ワークショップ、オープンハウス型説明会等の実施により、市民の皆様が考える課題やニーズを伺いました。今後は、パブリックコメントを経て、基本構想を取りまとめたいと考えています。引き続き、市民の皆様との対話を重ねながら、すべての皆様にとって使いやすい庁舎となるよう検討を進めていきます。

令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
検討委員会の設置	基本構想の策定	基本計画の策定	施設の設計、工事等(時期未定)

ワークショップの実施概要

今年度は、熊谷市にお住まいの18歳以上の方を対象としたワークショップを2回実施しました。延べ35名の方が参加され、活発な意見交換が行われました。

第1回の概要

開催日	2024年10月5日(土)
対象者	市内在住の18歳以上 18名
テーマ	①現状の庁舎の課題、②将来の庁舎、整備のあり方と懸念

第2回の概要

開催日	2024年11月16日(土)
対象者	市内在住の18歳以上 17名
テーマ	①コンセプト、②立地、③今後の進め方

主なご意見(一部抜粋) ※全編は市ホームページをご確認ください

現状の課題 / 20年後の庁舎の将来像 / コンセプト

- 市役所の一部が分庁舎に分かれているため、ワンストップで用事が済まない場合があり不便だ。
- 窓口スペースが狭い。庁舎内が手狭。
- トイレやエレベーターが狭く車いすの方等が大変。
- 本庁舎の各課に行くまでの案内サインの色が単調で、配置図、現在地などがわかりにくい。
- 届け出や事業の申請などをする際に、所管が異なるなどの理由のために、何か所も部署を回るのは不便だ。
- 隣の窓口との距離が近く、プライバシーが守られていないと感じる。
- 休憩したり食事ができるスペースがない。
- 熊谷市のシンボルとして位置付けるべき。
- 流行を追ったり奇抜なデザインにするのではなく、次の何十年間も飽きのこないデザインが良いと思う。
- 災害が増えているので、市庁舎には防災拠点機能が必要だと思う。
- 庁舎に行かなくても済むサービスの構築ができるとよい。AIの導入やオンラインが進むことを前提にし、市役所が担う役割や仕事が変わると思った方がよいと思う。
- 各課のスペースはオープンな空間にできるとよい。可変性がある執務フロアは、ニーズに合わせて転用も可能だし、災害時には避難場所としても使えるのではないかな。
- 絵画、演劇、音楽などの芸術に触れられたりイベントが開催できる空間があると、気軽に文化的活動に参加でき、ラグビーワールドカップの時のように皆で盛り上がることもできる。
- ラグビータウンであることなどをアピールし、スポーツ熊谷のイメージアップを図りたい。
- 庁舎内に子どもが遊んだり、親子が楽しめるスペースがあると子育て世代にやさしい庁舎になると思う。
- 市庁舎と熊谷駅を繋いで、まちに人の流れをつくりたい。

整備のあり方

- 分庁舎にある各部署が集約されると、1か所で用事が済むので便利になる。分庁舎の行政センターの機能は残ると聞いて安心した。
- 公共施設は車でアクセスしやすい場所にあると良い。
- 建て替えコストがかからなければ良いというものでもない。必要な施設ができるなら多少費用がかかっても市民は納得すると思う。
- 事業期間が単に短ければよいのではなく、各整備案の内容と期間を比較できると良い。
- コミュニティひろばは、駅からも現庁舎からもどこから見渡しがよく、目立ち、わかりやすい。
- 駐車場が現状より減ることが不安だ。
- 現状の庁舎位置での建替えは、仮設庁舎の建設と撤去が入っているので評価が低いですが、新庁舎を駐車場に建てれば仮設庁舎は必要ない。
- 現庁舎の跡地を売却すれば新庁舎の土地取得費用をまかなうことができるのではないかな。
- 現在の市役所は周辺に緑が多く、環境面で優れているので、評価は高くなると思う。

今後の進め方

- 20代、30代の親子の意見も聞いてほしい。子どもの発想もとても重要だと思う。
- 市職員の意見を聞くことも大切。
- 意見がどのように計画づくりに反映されるのかなど、取組みをわかるように示してほしい。

発行：熊谷市総合政策部企画課

〒360-8601 埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1

電話：048-524-1115(直通)